2011 年 10 月 14 日
阪急電鉄株式会社

宝塚線 運転士が乗務中に私物の携帯電話を扱った事象について

当社宝塚線の運転士が、乗務中に私物の携帯電話を扱っていたという事象が判明いたしましたのでご報告いたします。

今回の件につきまして、運転士としてあるまじき行為で誠に遺憾であり、お客様の信頼を著しく損なうものとして深くお詫び申し上げます。

今後、二度とこのようなことを起こさないよう、改めて係員への教育指導を徹底し、信頼回復に努めてまいります。

概要は以下のとおりです。

記

１．発生日時

２０１１年１０月１３日（木）　１９時２０分※ごろ

※お客様から石橋駅「ごあんないカウンター」にご指摘を受けた時刻

２．私用携帯電話を操作した区間

宝塚線　曽根駅で停車中
石橋駅で停車中
石橋駅～池田駅間（駅間距離 約２．４ｋｍ）を走行中（約５秒間）
池田駅～川西能勢口駅間（駅間距離 約１．３ｋｍ）を走行中（約２０秒間）

３．当該列車

普通列車（梅田１８時５２分発 雲雀丘花屋敷ゆき）

４．当該係員

運輸部 宝塚線運輸課 運転係所属　運転士　（男性　４７歳、経験２１年６ヵ月）

５．事実判明に至った経緯

当該列車にご乗車されていたお客様（小学生らしき男児）から、運転士が携帯電話を操作していたと、石橋駅の「ごあんないカウンター」にお申し出があり、事実関係の調査を進めた結果、当該運転士がその事実を認めました。

６．再発防止策

社内周知を行うとともに、係員への懇談指導を通して教育の再徹底を図ります。

以上